

有限会社農園星ノ環

- 業 種:農業
- 所 在 地:昭和村
- 従業員数:30名うち外国人材10名
〔在留資格:特定技能 5 名、技能実習 5 名〕
〔国籍:インドネシア〕
- ホームページ: <https://www.hoshinowa.com/>

🔍 ここに注目！！

- ✓ 全体会議などによる相互理解
- ✓ 日本語学習・運転免許取得支援
- ✓ 起業ゼミ

積極的な交流機会の創出・長期的な視点での人材育成

きっかけ

当社では、当社が法人化される前の1996年から外国人材の受入れを開始し、20年以上にわたり長らく外国人材と一緒に働いており、外国人材に会社の成長を支えてきてもらいました。外国人材の仕事ぶりや視点から学ぶことは多くありますが、受入れ当初は会社が働きかけないと外国人材から仕事の改善点などの意見が出ることはなく、外国人材にとっては意見が言いづらい雰囲気がありました。そこで、外国人材が安心して意見を言え、何でも相談できる働きやすい職場環境づくりの必要性を感じ、様々な取組を始めました。

また、当社の外国人材は現在の在留資格制度上、数年後には必ず帰国することになります。そのため、帰国後にも母国で活躍できるように長期的な視点で人材育成に取り組んでいます。

全体会議などによる相互理解

全社員が集まって行う「全体会議」を年に3回開催しています。全体会議では、まず会社の計画・方針や業務の進捗状況、売上げ、課題などの経営状況を全社員で共有します。その上で業務上の改善事項や会社の売上げ、時には仕事以外のテーマについて一緒に考えるワークショップを実施しています。この全体会議を通して、外国人材にも会社の

経営状況を把握してもらうとともに、外国人材と日本社員の意見交換の場を設けることでお互いの考え方の理解を深めています。



全体会議の様子

また、社内懇親会として、定期的な食事会(日本料理と外国人材の母国料理を一緒に食べる)や年1回の社員旅行、地域行事への参加、季節行事(ひな祭り、お花見、七夕など)を行い、仕事と離れた環境でも交流を深めることで普段からコミュニケーションがとりやすい関係を築いています。

日本語学習・運転免許取得支援

仕事で円滑にコミュニケーションをとって働くためには日本語能力が必須となるため、日本語学習支援に力を入れています。日常的には、日本語で記録・報告してもらった日報・メッセージの内容

添削や終礼を当番制にして一日の終わりにその日あったことへの感謝を日本語で発表してもらうなど、日本語を使う機会を設けています。日本語能力試験については、各外国人材が初めて受験するときの受験費用を会社が負担しているほか、毎回試験を受験する外国人材に対して日本人社員が業務時間外に学習をサポートしています。そして、日本語能力試験に合格した(N4以上)外国人材には年度末に表彰式を実施し、奨励金を支給しています。



日本語学習支援の様子

また、特定技能外国人材には基本的な農作業だけではなく、栽培管理業務を担当してもらうために、運転免許の取得を推進しています。免許取得費用を会社が全額負担するとともに、日本語で日本の交通ルールを理解する勉強会や学科試験の学習サポートなどを行っています。

起業ゼミ

当社では、外国人材の帰国後の活躍を見据えた支援として「起業ゼミ」を実施しています。起業ゼミは、帰国してから日本での経験をどのように生かし、働いていくかについて外国人材に日本にいるうちから考えてもらう機会としています。起業ゼミでは、

まず外国人材に帰国してからやりたい仕事を考えてもらい、最終的には帰国してから起業する際の事業計画書を作成することを目標としています。事業計画書を作成するまでの過程において外国人材から相談を受け、指導・助言(一時帰国時の現地調査によって得た情報の整理・疑問への対応、母国での投資について等)を行っています。

外国人材の中には起業ゼミを通して作成した事業計画に沿って日本にいううちにできることから実行している者や実際に帰国後に計画していた店を開いた者もいます。

【外国人スタッフの声】



ミコ アラスタさん(インドネシア出身)

弊社の社員は皆親切で優しいため、仕事で分からないことがあっても、すぐに相談できるので、働きやすいです。また、運転免許取得支援などスキルアップ支援体制が充実しているため、自身の能力を伸ばすことができます。



メストリヤナさん(インドネシア出身)

弊社では、懇親会や毎日の終礼など、コミュニケーションがとりやすい環境が整備されています。生活面で困ったことがあっても相談がしやすく、安心して働くことができます。

【代表者の声】

外国人材社員から日本人社員が学ぶことも多く、彼らと一緒に働くことで、会社全体の職場環境も良くなっており、大変助かっております。

外国人材にとって日本という異国の地で生活しながら働くことは大変なことが多いと思いますので、困ったことは何でも相談できる働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

日本人社員と外国人材社員を区別することなく、また人手としてではなく、人として彼らと付き合っていくことが最も大切であると考えています。



代表取締役 星野 高章さん